

## 教育研究評議会（平成 17 年度第 7 回）議事要旨

1. 日 時 平成17年10月18日（火）13：30～15:00
2. 場 所 事務局棟 3 階 会議室
3. 出席者 安田学長（議長）  
山本理事、磯貝理事、北田理事  
千原情報科学研究科長、小笠原バイオサイエンス研究科長、片岡物質創成科学研究科長、河野バイオサイエンス研究科副研究科長、布下物質創成科学研究科副研究科長

欠席者 村井理事  
横矢情報科学研究科副研究科長  
上田保健管理センター所長

出席監事 佐藤監事

陪席者 茶島総務部長、小島研究協力部長、田保橋総務課長、末永会計課長、荒井施設課長、奥田研究協力課長、田村学生課長、三原学術情報課長、鈴木企画室室長補佐、中條企画室専門員、矢倉企画室員

### 4. 議 事

（前回議事要旨の確認）

「教育研究評議会（平成 17 年度第 6 回）議事要旨（案）」について、原案どおり承認された。

（報告事項）

#### （1）各種委員会及び各研究科教授会報告

議長から、次の委員会等の議事概要について報告が行われた。

- ・第 6 回総合企画会議（平成 17 年 10 月 4 日開催）
- ・第 5 回情報科学研究科教授会（平成 17 年 9 月 22 日開催）
- ・第 7 回バイオサイエンス研究科教授会（平成 17 年 10 月 14 日開催）
- ・第 7 回物質創成科学研究科教授会（平成 17 年 10 月 14 日開催）
- ・第 5 回全学教育委員会（平成 17 年 9 月 21 日開催）
- ・第 6 回全学教育委員会（平成 17 年 10 月 13 日開催）
- ・第 2 回 21 世紀 COE プログラム戦略推進本部会議（平成 17 年 10 月 4 日開催）

これを受けて、片岡物質創成科学研究科長から、修了に必要な授業科

目 20 単位のうち、他の大学院との間における授業交流で 10 単位、他の研究科との間における授業交流で 4 単位まで取得可能と学則等において定められているが、合計すると 14 単位になり、本来の研究科の授業科目を 6 単位しか取得しなくても修了できてしまうのは問題ではないかという意見があり、全学教育委員会で検討することとなった。

(2) 年度計画（平成 17 年度）の実施状況について

議長から、平成 17 年度年度計画の項目別達成状況について報告が行われ、今後各学長補佐と担当課長がそれぞれ担当する年度計画の実施及び次年度年度計画の作成について検討を行う旨の報告が行われた。

(審議事項)

(1) 全学研究懇話会の開催について

磯貝理事から、本学において研究科を超えた研究情報の交換を行うために全学研究懇話会を定期的に開催する旨の説明が行われ、審議の結果、一部修正のうえ承認された。承認された全学研究懇話会の主な内容は次のとおり。

目的 研究科を超えて研究情報交換を行い、自発的なピアレビューや融合領域等の新しい研究課題開拓を目指す

日程 年 2 回程度（7 月、12 月）

対象 教職員、研究員

内容 各研究科から 3 人ずつ、1 人 15 分程度で研究内容紹介を行う

また、磯貝理事から、第 1 回全学研究懇話会を平成 17 年 12 月 20 日（火）15 時から 17 時 30 分までミレニアムホールにおいて開催すること及び各研究科から 3 人ずつ講演者の人選を研究科長に依頼したい旨の説明が行われ、各研究科長が 2 週間以内に選考した講演者を企画室宛に知らせることとなった。

(その他)

(1) 沖縄科学技術研究基盤整備機構との連携について

議長から、沖縄科学技術研究基盤整備機構理事長から同機構と本学との間の研究教育連携について協定締結の申し入れがあり、今後具体的な内容について検討する旨の説明が行われた。

(2) その他

千原情報科学研究科長から、本学の情報セキュリティポリシーが未整備なので早急に作成すべきであるとの意見があり、今後早急に検討することとなった。

また、千原情報研究科長から、本学における特任教員の英語名称を決

定してほしい旨の意見があり、今後検討することとなった。

以 上